

「ゼロカーボンシティ長与」宣言

～2050年二酸化炭素排出実質ゼロのまちを目指して～

わたしたちが暮らす地球は今、地球温暖化とそれに伴う「気候変動」により重大な危機に直面しています。

世界各地では、干ばつや豪雨、熱波による山火事、海水面の上昇、大型台風などの自然災害が多発するとともに、深刻な食料不足や生物多様性の損失など様々な影響が危惧されています。このような事態は、「気候危機」と言っても過言ではなく、人類の存亡に関わる脅威であり、これから生まれてくる子ども達に豊かな地球を引き継ぐことが困難となることが懸念されます。

こうした状況を踏まえ、わたしたちの生命や財産、自然を守るため、パリ協定等で「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力を追求する」ことなどが示され、その達成には2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする必要があるとされています。

国内でも、国民並びに国、地方公共団体、事業者及び民間の団体等の密接な連携の下に、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを達成し、脱炭素社会の実現を目指す国の方針が示され、関係者が一丸となった実効性のある取り組みが求められています。

長与町でも、これまで快適で地球に優しい持続可能な地域づくりに向け、次世代へつなげる自然豊かな美しい環境のまちづくりを進めて参りました。

「人・緑・未来 つなぎ はぐくむ ながよ」をまちの将来像に掲げ、豊かな自然環境と美しい街並みを大切に守り育てるまちづくりを進めて参ります。

この豊かな環境を子どもたちや未来の世代に受け継いでいくため、「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」の実現を目指すことをここに宣言します。

2021（令和3）年3月17日

長与町長

吉田 慎一
